【様式３-１】

公益財団法人 樫の芽会　御中

令和６年度伴走型就学・学習支援活動助成　実施報告書

【団体の概要】

		①　作成日	令和７年５月１４日
②法人・団体名	一般社団法人オートレランス		
③団体所在地 （都道府県・市町村名まで）	大阪府大阪市天王寺区味原町		
④責任者氏名	神垣忠幸	（役職名等）	代表理事
⑤担当者氏名	神垣忠幸	（役職名等）	代表理事

【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R06-014	⑦助成金額	５０万円	⑧申請カテゴリー	C
⑨奨学活動名	無料塾アジハラベイスの運営				
⑩主な実施場所名・及びその住所	大阪府大阪市天王寺区味原町７番６号 アジハラベイス				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式３-２】又は別添資料にて記載・説明ください。）

無料塾アジハラベイスは小中学生を対象とした学習支援事業で2023年から始まりました。今年度より活動日を金曜日から土曜日に変更した結果、当初は小学生生徒が減りましたが、後期から中学生と小学生低学年生徒が増加し、その弟妹を含め9名の児童生徒がほぼ毎週やってきます。一方、土曜日に変更したことで毎月新たなボランティア講師の応募があり、児童生徒にマンツーマン以上の体制で運営できるようになりました。

登録中学生数：３名、延べ出席数：５６回（12ヶ月、自炊塾は含まず）

登録小学生幼稚園児数：６名、延べ出席数：９３回（同上）

登録高校生講師数：１７名、延べ参加数：１１６回（同上）

登録大学生講師数：１名、延べ参加数：２３回（同上）

登録社会人講師数：１３名、延べ参加数：１４５回（同上）

購入備品：ノートPC、２８インチモニター、プロジェクター、各１台、書籍・資料類：22冊

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式３-２等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 （A：人）	平均時間 （B：時間）	活動量 （A x B）	備考・補足・計算根拠等
中学生等	47	2	94	7～３月まで９ヶ月、自炊塾は含まず
高校生等	93	2	186	同上、講師として参加
大学生等	17	2	34	同上、講師として参加
大人	126	2	252	同上、講師として参加
小学生以下	87	2	174	7～３月まで９ヶ月、自炊塾は含まず
合　　計			740	

⑬その他の定量的な数値（任意）

無料塾開催は9ヶ月で34回、参加児童生徒は延べ134名、参加ボランティアは延べ232名でした。

【様式３-２】

令和６年度伴走型就学・学習支援活動助成　実施詳細報告書

奨学活動名：

法人・団体名：一般社団法人オートレランス
作成者　氏名：代表理事　神垣忠幸

１．取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

無料塾は学習機会を持ちにくい児童生徒に機会提供するために始まりました。不登校気味の児童生徒に教頭と SSW が声がけし、参加を促してきました。やがて口コミで生徒は 10 名まで増え、そのうち母子家庭生徒児童が２名、学習遅れ生徒が１名、外国にルーツを持つ家庭の生徒が１名です。この４名に特に配慮しつつ毎週の学習支援を行っています。幸い能力の高い講師に恵まれ、高校進学を目標に丁寧な指導を続けています。

２．実施した奨学活動の詳細

4月	無料塾:20,27 日、生徒２名、ボランティア講師９名 自炊塾:27 日、子ども３名、大人５名
5月	無料塾:11,18,26 日、生徒５名、ボランティア講師 16 名 自炊塾:11,26 日、子ども３名、大人９名 全体ミーティング「アジハラベイスで何しよう？」:11,25 日、ボランティア９名
6月	無料塾:8,15,22,29 日、生徒８名、ボランティア講師17 名 自炊塾:8,22 日、子ども５名、大人７名 全体ミーティング「アジハラベイスで何しよう？」:8 日、ボランティア 10 名、9 月に科学実験イベント開催を決定。内容と予算と広報スケジュールについて概要固まる。
7月	＊改修工事:15 日、内壁工事完了 無料塾:13,20,27 日、生徒９名、ボランティア講師20 名 自炊塾:13,27 日、子ども９名、大人４名 全体ミーティング「アジハラベイスで何しよう？」:13 日、ボランティア９名、科学実験イベント開催の内容と広報手段について話し合い。
8月	無料塾:3,17,24 日、生徒６名、ボランティア講師10名 自炊塾:なし 9/29 開催「大科学実験」イベント案内チラシ案を味原小、真田山小、高津中学に持参、説明。
9月	＊改修工事:20日、給排水工事完了 無料塾:7,14,21,28 日、生徒8名、ボランティア講師24 名 自炊塾:21 日、子ども５名、大人４名 イベント案内チラシを持参:5 日、味原小、真田山小、高津中、生魂小、桃陽小 「大科学実験」イベント:29 日、〈スライム、空気砲、シャボン玉、壁画、ベビーカステラ、アイスクリーム〉子どもたちが作って遊ぶ、作って食べる、参加型のイベント。子ども 65 名、保護者 25 名、ボランティア 15 名で大盛況。
10月	無料塾:5,12,19,26 日、生徒 14 名、ボランティア講師 29 名 自炊塾:12,26 日、子ども12名、大人9名 全体ミーティング:25 日、ボランティア９名、9 月のイベント振り返りと次年度に向けた活動計画を話し合い、12 月にクリスマスイベント開催を決定。
11月	無料塾:9,16,23,30 日、生徒 17 名、ボランティア講師 27名 自炊塾:9,23 日、子ども 11名、大人7名
12月	無料塾:7,14 日、生徒 10 名、ボランティア講師 18 名 自炊塾:14 日、子ども20名、大人10名 クリスマスイベント:21 日、子ども 12 名、大人４名、巨大ツリー作成、厚焼きパンケーキ作り、食べる。

1月	無料塾:11,18,25 日、生徒 17 名、ボランティア講師 26 名 自炊塾:11,25 日、子ども 20名、大人7名 ボランティアフェスティバル:18日、空気砲作り、スライム作り、子ども50名、大人10名
2月	無料塾:1,8,15,22、生徒 21 名、ボランティア 34名 自炊塾:8,22、子ども16名、大人8名
3月	無料塾:1,8,15,22,29、生徒 32 名、ボランティア44名 自炊塾:8,22、子ども16名、大人8名

・参加人数

無料塾開催は 2 年目となり、開催回数は 44 回、参加児童生徒は延べ 149 名、参加ボランティアは延べ 274 名でした。

・周知方法や協力いただいた関係者

アジハラベイスは天王寺区役所市民協働課から「こどもの居場所」として認定されており案内物を区内の小中学校で全校配布できます。そのお陰で学習支援の対象者への周知方法として、案内印刷物を年に数回全校配布が可能となり、効果的な周知方法を採用できています。

参加児童生徒はスクールソーシャルワーカー（SSW）の紹介で来所する児童生徒が最も多く、その他では 9 月に実施したイベント「大科学実験」に参加した児童と保護者からの無料塾参加希望や、地域で活動する児童発達支援員の紹介で来所希望する生徒が増えています。

・地域やボランティア活動との連携

9 月に実施したイベント「大科学実験」で 65 名の子どもとその保護者 25 名の参加を得て成功裏に終えた実績をもとに、天王寺区社会福祉協議会開催の「ボランティアフェスティバル」において「ペットボトル空気砲作り」と「スライム作り」のブースを担当した。ここでも 100 名以上の子どもにもの作りの体験機会を提供できた。天王寺区社会福祉協議会とはこの 2 年間互いのイベント、事業に参加し、連携を深めてきました。同時にそこで出会う他の支援団体（無料塾運営 NPO、児童養護施設、不登校児童生徒の学習支援団体など）との協力関係も築くことができています。

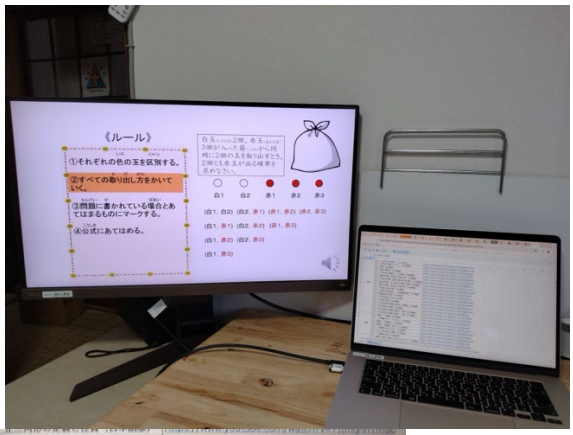
・学習支援員について

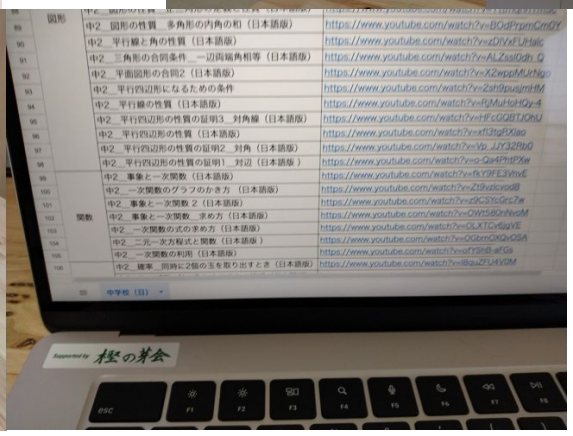
学習支援員は、高校生からシニア層まで毎月ボランティア参加希望者の応募があり、その多くはボランティア募集サイト（Activo）経由で申し込みされています。現在学生講師 19 名、社会人講師 5 名、見守りボランティア 10 名が登録され、秋以降は毎回 10 名前後のボランティアが参加してくれています。

・購入した機材・物品の写真（助成表示用シールの貼付）

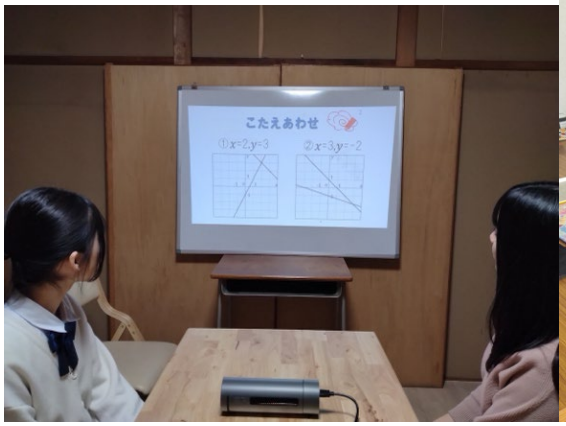
購入機材はノート PC とモニターとプロジェクターです。モニターは当初計画にはありませんでした

が中学生２名が明るい部屋でオンライン教材に取り組む際に必要となり購入しました。プロジェクターは講師と生徒を交えた、講義実施に利用しています。





・その他



３．本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

中学２年男子２名はそれぞれに不登校と学習遅れの課題を抱えている。学校での成績は底辺だが高校進学を念頭に好きな科目を伸ばす努力を続けている。だが目標は高校進学だけではなく、入学した高校を

卒業し社会生活に接続可能な道を歩むために今から必要なことは何かを話し合っている。
小学生は低学年ばかりが揃ったため、土曜日に勉強する習慣が身についていない。さらにその弟妹（年中）も来るため、遊びの時間が増えてしまっている。しかし、土曜日の午後に児童ばかり預かるということはその家庭の若い母親はさらに下の子供の育児や自身のレスパイトができることから大いに感謝されている。アジハラベイスは広い会場なので勉強室と遊び室を物理的に分けることが可能です。高校生講師たちに聞いてみると中学生への指導と小学生たちと遊ぶ時間の両方を楽しんでいると言うので次年度もこの環境を持続する計画です。

４．本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

月に 2 回は無料塾の後に自炊塾を 2 時間実施しています。するとこの日は 4 時間ともに過ごすことになり、最後は一緒に調理して食事をすることになります。4 時間ともに過ごすと子供たちの家庭の実情が見えてきます。高校生も児童生徒の家庭状況を知るようになり、社会課題を考えるきっかけが生まれているように感じます。学習支援の場にとどまらず、家族や社会を考える高校生の成長の場を提供できていると実感しています。
新年度 4 月から火水木曜日に不登校児童生徒の居場所を開いています。この計画は昨年から小中学校と SSW に説明してきましたので、2 月末から SSW 同伴で不登校児童の見学と保護者からの相談が続き、校区内中学校、小学校からは校長、教頭らも来られ、アジハラベイスに来る日は登校扱いにするなどの取り組みとなりました。全国的に不登校児童生徒が増加している状況を考え、学校側も柔軟な対応に変化しています。地域に（住まいから遠くない場所に）不登校児童生徒を受け入れる居場所が複数求められていることが教員との意見交換からも伝わってきます。ここに従事するのは元小学校教員、障害児の支援施設元従事者などの大人で、大学生もボランティアに応募してくれています。不登校自児童生徒がアジハラベイスに来ることで他者と関わる時間を作り、慣れて来れば土曜日の無料塾、自炊塾に参加し、やがて本来の学校に登校できるようになる、そのような繋がりを作り出せればいいなと考えています。
　このように地域の小中学校とは良好な連携関係が維持されていますので、信頼関係を崩さぬように丁寧な活動を続けて参ります。

５．学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）

該当せず